

過去最多142名の参加で開かれる



私たちが作った「キーマカレー」は最高においしかった！（ネスト隊）

ひかり新聞

共生共助の社会をめざす

2017.9.29
No.32

一般社団法人
ひかりプロジェクト

7月28日(金)～30日(日)、第6回ドリームキャンプが昨年と同じ気仙沼大島で開催されました。
参加者は隊員85名、スタッフ57名の計142名で過去最多。今年も、「モットー」まごころ、感謝、思いやり、「テーマ」被災地の子どもたちに夢と希望と笑顔を、「エッグ（小1～3）ネスト（小4～6）ジュニア（中1～3）」の3隊に分かれて、プログラムが展開されました。

今年、新築移転された紫神社前商店街（旧紫市場）に集合し、晴天の中ドリームキャンプがスタートしました。歩いて数分のエースポート（フェリー乗り場）から大島まで約25分の船旅です。デッキでかっぱえびせんを食べながら、かもめと戯れることができた子どもたちは、これから始まるキャンプにワクワクドキドキ。

キャンプ場に到着して、昼食後、合同開講式を行い、その後は各隊ごとのキャンプサイトに移動しました。

ところが初日の晩から、しとしと雨が降り始め、翌日の夕刻までは雨の中でのキャンプとなりました。

メインプログラムの一つ、2日目の海水浴を変更し、急遽、島内の公共施設の体育館をお借りして、各隊全員参加のゲーム大会で楽しく過ごしました。

また、キャンプファイヤーも室内でのキャンドルファイヤーとなり、みんなガツガツするだろうと思っていたが、子どもたちはどんな時でも元気で、精一杯、カ一杯、楽しんでいました。雨で、予定したプログラム通りには運びませんでしたが、「子どもたちに笑顔を！」というテーマに沿って進めることができました。

6年前から参加している子どもたちの数名は中学生になり、ジュニア隊で活躍していました。

今年、ジュニア隊では、リーダーを目標とするのテーマのもと、自分たちジュニアのことだけでなく、全体プログラムでのリーダー的役割を担いきました。2日目の夕食（ビュッフェスタイル）作りの手伝いで142人の調理を一部受け持ち、きちんと対応してくれました。

今回もスタッフは、全国各地からのベテランリーダーが中心でしたが、キャンプ場で初めて会うメンバーも多く、復興支援という一点で心をつなぎ、取り組み、またその姿勢が、参加する者すべてをやさしく包み込むところに、このドリームキャンプのすばらしさがあります。

中でも特筆すべき点は、今年初めて、地元の高校生8名がスタッフとして参加してくれたことです。昨年参加したスタッフや仲間からの口コミで、ボランティア活動に興味があり、参加したとのこと。

この高校生スタッフたちが、エッグ隊・ネスト隊で班付リーダーの役割をしっかりと果たしてくれました。子どもたちとは年齢も近く、同地域である安心感もあり、打ち解けて、よきお姉さんとして頑張ってくれました。

また、「みやぎ心のケアセンター」の職員で、昨年について参加されたスタッフもあり、回を重ねる毎に地元理解と広がりが増していることは、本当にありがたいと思います。

復興の兆し、証しとはまさにこういうことなのだろうと嬉しく、誇らしく、そして頼もしく感じ、また来年も！と心おどります。

ドリームキャンプへの参加希望者は、これまでの実績・評判から、年々増えており、今年も抽選で参加者を決めさせていただきます。

会場やスタッフ、財源等の関係で、希望者全員を受け入れられないのが、残念でなりません。

キャンプ感想文

紙面の関係で原稿の一部を
抜粋させていただきました。



新築移転された「紫神社前商店街」から出発！

エッグ隊

村上 ちな (気仙沼小 3年)

わたしはたのしかったのが3つあります。一つ目はグループ決めです。わたしは今回はじめてで、グループがだれになるのが楽しみでした。そしてグループ決めをしました。そして、学校の子がいっぱいて、すごくよかったです。

二つ目はキャンプファイヤーです。ざんねんながら雨だったので、キャンプファイヤーは中でやりました。すごく楽しかったです。ゲームをやったり出し物とかもして、とても楽しいキャンプファイヤーでした。

三つ目は花火です。わたしは花火が好きなので十本いじょうやりました。せんこう花火みたいのをしたり、色が変わる花火をして、とっても楽しかったです。また来年もドリームキャンプにいきたいです。来年も花火をしたいな！

今野 暖士 (気仙沼小 3年)

ぼくが一番楽しかったのは、フェリーにのって、カモメにっかばえびせんをやったことです。ウミネコには指をかまねそうになったけど、かまねなかったし、何か上からウミネコがぶつかってきちゃった。二番目に楽しかったのは、花火です。ぼくが花火で一番よかったのは、黒いろうの花火です。花火をたくさんつかいいます。またドリームキャンプにいきたいです。



↑大島に到着！

カモメと一緒に大島へ→

村上 理人 (新城小 2年)

ぼくが楽しかったことは、二つあります。一つ目はサイトたんけんです。サイトたんけんはジュニアたいとネストたいのやっているところを見ることがです。ジュニアたいは、ごはんをつくらせてもらいました。すごかったです。ネストたいは、はごうすいはんをやっていました。



キャンプサイト探検 ネスト隊のテントに興味津々

村上 暖 (松若小 1年)

わたしははやいじいのしょうたいをしつてます。それはひみつです。それとよるは、はなびをなつかしくやっていたのしかったです。

よるおそくまでおきていたけど、ねむくなかったです。またキャンプにきたいです。

班旗と班員の紹介をしています



ただいま班旗作成中！

鎌田 悠生 (気仙沼小 3年)

ぼくの楽しかったことは、キャンプファイヤーです。さいしよに「アプラハム」というゲームをしました。それは体を動かすゲームでした。さいしよに頭を動かしました。さいしよはかんたんにできました。つぎに右足と頭を動かしました。それもかんたんにできました。次に、頭と右足と左足を動かしました。これはすごくむずかしかったです。このゲームもむずかしかったところもあるけど、とても楽しかったです。

つぎにやったゲームは「もうじゅうが

りにいこうよ」をやりました。ネストた
いのリーダーがクロヒヨウといまし
た。クロヒヨウのもじかすは5もじなの
で、五人のグループをつくりました。こ
のゲームもすごく楽しかったです。

来年はネストたいです。あたらしいこ
とがいっぱいまっていると思います。
いままでの夏やすみのなかで、いちば
んたのしかったです。来年もきたいな、と
思いました。



エッグ隊が宿泊したサニタリー棟 ドローンから撮影しました

ネスト隊

永澤 未来瑠 (気仙沼小 4年)

私は、ドリームキャンプで大変だった
ことは一つあります。

それは、ごはん作りです。火をつけたり、
食器をあらい、まきをひろったり、と
てもつかれてあせだくでした。

楽しかったことは、全部です。キャン
プファイヤーも、体育館であそんだのも
全部たのしかったです。スタッフさんた
ちもやさしかったです。あと、テントで
ねるとき虫がいてすごくさわぎました。
また来年もいきたいです。またおっほ
していきたいと思います。



まきを持つ手には、軍手を二重につける
ことを、リーダーさんに教わりました

熊谷 京香 (気仙沼小 5年)

私は、今年で5回目のドリームキャン
プでした。私が今年のドリームキャン
プで楽しかったことが2つあります。

一つ目はご飯づくりです。私は火おこ
しをやりました。火の前でまきを足した
り、かれ葉やこえだを入れたりして、と
っても熱かったけど、みんな協力して
おいしいごはんができました。

2つ目は新しい友達ができたことで
す。班は知らない子がほとんどで、きん
ちようしたけど、みんなやさしくしてく
れて、ニックネームもつけて、最終日ま
でにとっても仲良くなりました。

ドリームキャンプはすごくたのしい
し、友達もたくさんできます。だから来
年もぜひ来ようと思います。



ご飯おいしく炊けたかな？

吉田 稔平 (松岩小 6年)

ぼくは、五回目のドリームキャン
プにきました。この三日間で楽しかったこと、
心に残ったことは三つあります。

一つ目は、班長になったことです。

ぼくは班のリーダーになるのが初め
で、少し不安だったけれど、集合のと
きにみんなを並ばせたり、まとめること
ができたので良かったです。

二つ目は、炊事です。

今回はほとんどを自分で炊きました。
なべ焼きやコンソメスープ、サラダなど
のたくさんものを作りました。とても
たいへんだったけれど、みんな協力し
て作ったご飯はおいしかったです。

三つ目は、キャンプファイヤーです。今
回は、ネスト隊全員で「恋ダンス」をし
ました。ぼくは、学校の6年生を送る会
ぶりなので、覚えている心配だったけ
れど、ちゃんとできていて安心しました。
来年は中学一年生で、ジュニア隊にな
るけれど、がんばりたいです。



ピュッフエスタイルの夕食

吉田 嵐 (松岩小 6年)

ぼくは、ドリームキャンプは今年で5回目の参加でした。

このキャンプは、回を重ねるごとにとってもおぼ敷が増えていっているのですが、今年はおぼ敷があたるか心配でしたが、ちゅう選が当たったのでとてもうれしかったです。

そして一番楽しかったのは、テントです。今まで学校が違ってあまりしゃべることが無かった人でも、テントが同じなので話すことが多くなったり、手遊びをして遊ぶことや、一緒にトイレに行くことが多くなったりしました。

そして自分たちで作る、なべ焼きや野菜コンソメスープ、キーマカレーはとてもおいしくできました。でもキーマカレーは他の班のカレーも入れてしまい、とても味の濃いキーマカレーになってしまいました。これも良い思い出になったと思います。

来年も自分の友達をさそって、ドリームキャンプに来たいです。そして来年はジュニア隊なので、とても楽しみです。

加藤 るり (九条小 5年)

私は、今年でドリームキャンプが四回目です。ドリームキャンプでたのしかったことが三つあります。

一つ目は、一日目の夕ごはん、キーマカレー作りです。ごはん作りはとても不安でした。つくっているうちにだんだん楽しくなりました、おいしくできました。

二つ目は、ピュッフエです。いろいろな食べ物がある、その中でもとてもおいしかったのがやきそばです。私はあまりやきそばは好きではありませんでしたが、食べてみたらおいしかったです。

三つ目は、キャンドルファイヤーです。私たちのだしものは、恋ダンスです。テレビで恋ダンスを見ておぼえました。恋ダンスが分かる人と分からない人で練習を始めました。高校生がちゅう選んで分らない人がおぼえやすいように練習をしていて、すごいと思いました。

ゲームをして、エッグの出し物をして、とうとう自分たちの番がきました。自分の場所について恋ダンスをおどりました。おわたたときに「アンコール」がかってビックリしました。ドリームキャンプは来年もいきたいです。



営火長は「ほやじいじ」です



大好評だった「恋ダンス」

堀籠 進之介 (階上小 6年)

ぼくは、このキャンプで楽しかったことをいくつか紹介します。

一つ目は、二日目の朝食作りです。なべ焼きと、コンソメスープを作りました。どちらもおいしくて体力がつかまりました。二つ目は、キャンドルファイヤーです。ぼく達は、恋ダンスをおどりました。とてもむずかしかったです。

三つ目は、テントの中での話し合いです。とてもおちついて話せました。



テントの中で感想文を書いています



ゲーム大会の後、全員で集合写真

ジュニア隊

よしだ あやか
吉田 彩花（気仙沼中 2年）

雨を心配しながら家を出たが、案の定雨が降って大変だったのが、正直一番印象に残っている。テントの中まで水が入り、寝られるような状況ではなかったが、ブルーシートやゴミ袋などを使ってどうにか寝られる環境を作ることができた。2日目は疲れのせいもあるが、すぐ寝ることができた。

楽しかった事は、エッグ隊やネスト隊と遊んだことだ。無邪気に遊ぶ姿は、何ともほほえましかった。自分からは気づかないようなささいなことでも、まるで新しい物を見つけた時の喜びのように、自分にその発見を伝えてくれる。その時の目の輝き、純粋さ、観察力には驚かされることが何回もあった。

この3日間 大変なこと多かったが、それと同じ数、皆と協力し合った。一人ではできないことでも、皆とならできる。これから困難にあたって、協力できる喜びを感じれば、そんなにも怖くはないと思えた。



ジャンケン列車で、大いに盛り上がりました

いわた りゅうが
岩淵 琉雅（松岩中 1年）

このキャンプには来る前は男子が4人しかいなくて不安だったけど、知っている人がいて少し安心できました。

1日目は班が発表されてドキドキしました。でも班の全員が同じ中学校だったので少し仲良くできたと思います。火をつける時うまくできるかなと思ったり、どううまく火がついてよかったです。

2日目は班の人ともっとしゃべれるようになってよかったです。2日目は、雨がふって海に行けなくて体育館でエッグ隊とネスト隊と仲が深まって良かったです。雨がテントの中に入って大変でした。



テント設営完了！

さしはらるか
佐藤 春香（松岩中 2年）

私は、今回のドリームキャンプの参加で5回目でした。あいにくの雨で外でのプログラムがあまりできませんでしたが、特に楽しかったことが2つあります。

1つ目は夕食作りと朝食作りです。夕食は「キーマカレー」ともやしのサラダ」を、朝食は「なべやきと野菜スープ」を作りました。どちらも、レシピを見ながら作ったのでおいしく作れました。



見事な包丁さばき

でも、「なべやき」の生地がドロドロになって大変でした。この活動で班のみならず仲良くなりました。

※「なべやき」とは右手側大船渡船場のおやつで、もちもちした和風ホットケーキのようなもの。



2つ目はキャンドルファイヤーです。雨のため外でキャンプファイヤーはできませんでしたが、各隊で練習したスタンプは、どれもすごかったし、見ていて楽しかったです。ジュニア隊も「君がくれたもの」を歌いました。楽しかったです。今回のキャンプはとても楽しかったです。機会があればまた参加したいです。



「君がくれたもの」を歌いました

ささき ありさ
佐々木 光咲（気仙沼中 1年）

今回のドリームキャンプは初参加だったけど、とてもおもしろかったです。雨で海に行けなくなったり、テントに水が入ってきたり大変なこともいろいろあったけど、たくさん思い出ができました。

ごはん作りも初めて作る料理が何種類かあって、作るのがおもしろかったです。エッグ隊とネスト隊と遊んだり、おどったりしたのがおもしろかったし、大変だったけど、班会議やおかしを食べたテントもいい思い出になりました。

初日はしゃべらなかつた人とも、3日目には普通にしゃべる友達になれたことがよかったです。

そして、まきわりは初めてやったし、テントをたてるのも久しぶりだったのでもおもしろかったです。初めてのキャンプで初めての事もたくさんあったけど、たくさん楽しいこと、おもしろいこと、大変だったことがあって、夏休みの良い思い出になりました。



合同閉講式 最終日は晴れました

写真撮影：伊藤智子・犬塚真子・奥原幹雄
阪本正雄・板東諭史（敬称略）

熊本でマッサージイベント開催

9月8日(金)・9日(土)、益城町の安永東仮設団地、木山上辻仮設団地、西原村仮設団地の3か所で、マッサージイベントを行いました。これらの仮設団地は、3月に「もちつきと歌の会」を開催した所でもあります。

たまたま、地域支え合いセンターで紹介してもらった仮設ですが、細くとも長く付き合っていきたいと思っています。今回も、事前の案内やポスター貼り、チラシポストイングの際などは、益城町地域支え合いセンター・西原村地域支え合いセンターを通して、自治会長さんや集会所にいらっしやる方とお話をするようにしました。

それぞれの仮設団地でのマッサージイベントは、約3時間を予定していましたが、仕事を終えてから来られる方もあり、場所によっては20時すぎまで行いました。



マッサージをする池田啓子さん(左)



スタッフは、ひかりプロジェクトの青いピブスをつけて

仮設団地は3か所とも満杯で、国が建設予定の復興住宅は、なかなか進んでいません。仮設団地での生活は厳しい面があり、お話ししていても、住民の方々はストレスがかなり溜まっていると感じました。まだまだ復興には時間がかかります。継続的な支援活動が必要だと思えます。

ちなみに、益城町には17か所の仮設団地に500戸があり、西原村は1ヶ所の仮設団地しかありませんが、285戸があります。

今回の活動には、3つの会場で約50名の方々に参加していただきました。ボランティアスタッフとして、延べ9名の方々がお手伝いくださいました。広島から参加していただいたマッサージ師の池田さんをはじめ、皆さんありがとうございました。次回秋が深まるころに「もちつきと歌の会」を行いたいと計画しています。(清水幹生)

ポスター

主催：一般社団法人ひかりプロジェクト

マッサージイベント



日時：9月8日(金) 午後1時～午後5時
場所：安永東仮設団地
内容：マッサージを行いながらじゃんけんゲーム商品も準備しています。

お問い合わせ：ひかりプロジェクト 清水 幹生 (086) 1924-1098

河口湖でも
はるかかのひまわりが
咲きました



◆前号で紹介した熊本・木山仮設団地の「はるかかのひまわり」の種を少し分けていただきました。◆6月4日に苗床の鉢に蒔いて、毎日かかさず水をやると、1週間後で芽が出て、7月2日には15cm位に伸び、花壇に移植しました。◆その後はぐんぐん伸び、8月には2mの高さまで大きくなり、道行く人からも声をかけられるなど、楽しませていただきました。◆現在は、花から種の採取に取り組んでいます。(大田 一)



ひかり募金にご協力をお願いいたします

★ゆうちょ銀行 記号 10890 番号 16718311
★郵便振替 記号番号 00210-2-137823
一般社団法人 ひかりプロジェクト

ひかり新聞 No.32 2017年(平成29年)9月29日

発行者：一般社団法人 ひかりプロジェクト

〒401-0304 山梨県南都留郡富士河口湖町河口1975

電話 0555-72-8191 FAX 0555-76-6696

https://hikari-project.jimdo.com/ E-mail : hpa@road.ocn.ne.jp

「子ども食堂へ温かい支援」みやぎ生協様の福祉活動助成金より、立ち上げ初年度の食材費のご支援を頂くことになり、9月9日(土)贈呈式に参加してきました。みやぎ生協では、子ども食堂への支援に取り組んでいるとのことで、贈呈式には県内でも子ども食堂を運営している数団体も参加しておられ、お互いの情報交換をいたしました。当日は、短い時間でしたが活動発表の機会を頂き、スライドを使って「ドリームキャンフ」および「子ども食堂」の活動を紹介しました。(奥原幹雄)